



## 2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月26日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 齊藤 正明 (TEL) 03-6439-1701  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月27日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	9,411	△17.6	△504	—	△444	—	△465	—
2019年12月期第1四半期	11,415	△1.1	616	97.8	639	96.9	439	97.0

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △1,474百万円(—%) 2019年12月期第1四半期 347百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△60.63	—
2019年12月期第1四半期	57.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	42,338	22,493	52.9
2019年12月期	44,228	24,199	54.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 22,405百万円 2019年12月期 24,105百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響が見込まれ、現時点では連結業績予想の合理的な算定が困難なため、2020年2月13日に公表いたしました連結業績予想を一旦未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	7,689,413株	2019年12月期	7,689,413株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	10,401株	2019年12月期	10,367株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 1 Q	7,679,027株	2019年12月期 1 Q	7,655,370株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高い企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルスの影響により、経済は内外需共に急速に悪化しており、先行きについても厳しい状況が予想されます。

当アパレル・ファッション業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外からの渡航者入国制限によるインバウンド需要の激減、商圈顧客の外出自粛に加え、商業施設や直営店舗の臨時休業や営業時間の短縮等により集客が減少し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは「お客さま第一主義」の理念のもと2023年を最終年度とする中期経営計画に基づき、基本政策として掲げる「収益基盤の確立」、「EC事業の拡大」、「積極的な新規事業開発」、「経営基盤の構築」の各政策に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルスの影響により、厳しい環境での事業運営となりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は94億1千1百万円(前年同期比17.6%減)、営業損失は5億4百万円(前年同期は6億1千6百万円の営業利益)、経常損失は4億4千4百万円(前年同期は6億3千9百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億6千5百万円(前年同期は4億3千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

#### (アパレル関連事業)

「日本」につきまして、既存事業では期の半ばまでは堅調に推移したものの、新型コロナウイルスの影響による商業施設や直営店舗の臨時休業や営業時間の短縮等により、各ブランド事業とも3月から総じて厳しい販売状況となりました。新規事業では、卸売販売のみを行っていたポルトガルのボディークア&フレグランスブランド「クラウド ポルト」で国内初の直営店舗となる新宿ルミネ店をオープンいたしました。EC事業については、物流拠点の移転を機に、3月よりECの物流機能の内製化を開始いたしました。また、営業自粛などにより実店舗の販売が厳しいなか、ECに商材を集約するなどの施策を実施したことにより、EC事業の売上高は前年から大幅に増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は56億6千2百万円(前年同期比20.7%減)、営業利益は9千3百万円(前年同期比77.8%減)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディーラックにおいて、インポートブランド「A.P.C.」が昨年からの積極的な新規出店により店舗売上が増加したほか、自社ECサイト「I.D. LOOK モール」に関連したSNSマーケティング等の施策が奏功したことによりEC事業の売上が大幅に増加いたしました。しかしながら、日本よりも早期に始まった新型コロナウイルスの感染拡大により実店舗での売上が減少し、総じて厳しい状況となりました。株式会社アイディージョイにおいても同様に、実店舗での売上が減少いたしました。その結果、「韓国」の当第1四半期連結累計期間の売上高は32億5千万円(前年同期比20.7%減)、営業損失は4千8百万円(前年同期は8千2百万円の営業利益)となりました。

「欧州」につきましては、イタリア国内外への卸売販売が増加いたしましたが、イタリアやフランスの直営店舗の臨時休業により店舗売上は減少いたしました。その結果、「欧州」の当第1四半期連結累計期間の売上高は8億9千6百万円、営業利益は1億4百万円となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け売上高が減少いたしましたが、洛格(上海)商貿有限公司においては、既存事業のEC売上が大幅に増加いたしました。また、2019年7月1日に子会社化したIl Bisonte S.p.A.の米国、香港の子会社が連結子会社となったことにより売上高は増加したものの、営業利益は減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9千5百万円(前年同期比58.2%増)、営業損失は3千8百万円(前年同期は1百万円の営業利益)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は99億4百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は1億1千万円(前年同期比78.1%減)となりました。

#### (生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による中国の協力工場の操業停止などにより生産スケジュールが遅れたため、売上高が前年同期を下回りました。また、生産地変更に伴い生産コストが増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5億9千2百万円(前年同期比9.3%減)、営業損失は4千1百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、ECの物流機能を内製化したことにより、売上高及び営業利益ともに増加し、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億8千万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は1千3百万円(前年同期比490.5%増)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションアブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月から営業時間を短縮したことにより、売上高が前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9百万円(前年同期比9.3%減)、営業損失は8百万円(前年同期は8百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が6億5千万円増加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による売上高の減少及び季節要因により受取手形及び売掛金が16億6千1百万円、時価の下落により投資有価証券が7億7千4百万円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ18億8千9百万円減少し、423億3千8百万円となりました。

負債は、借入金の純増額12億2千5百万円がありましたが、季節要因により支払手形及び買掛金、未払費用、未払金などがそれぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億8千4百万円減少し、198億4千5百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が6億9千5百万円減少したことに加え、時価の下落によるその他有価証券評価差額金、為替レートの変動による為替換算調整勘定がそれぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億5百万円減少し、224億9千3百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は52.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後の見通しにつきましても厳しい経営環境が継続するものと予想されます。

4月以降も国内の商業施設や直営店舗が臨時休業や営業時間の短縮を実施していることなどにより、今後の業績への影響は避けられない状況です。このような状況に対し、当社グループはコスト抑制をはじめとする対策を推進しておりますが、先行きは極めて不透明な状況であることから、業績予想を合理的に算定することが困難であります。

したがって、2020年2月13日に公表いたしました2020年12月期の連結業績予想は、一旦未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

なお、現時点での配当予想の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,444	7,094
受取手形及び売掛金	5,140	3,478
商品及び製品	9,043	9,189
仕掛品	1,044	720
原材料及び貯蔵品	557	610
その他	981	881
貸倒引当金	△46	△33
流動資産合計	23,164	21,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,330	1,473
土地	540	457
その他（純額）	1,044	1,155
有形固定資産合計	2,915	3,086
無形固定資産		
のれん	10,942	10,802
その他	212	209
無形固定資産合計	11,155	11,011
投資その他の資産		
投資有価証券	2,539	1,764
退職給付に係る資産	358	61
繰延税金資産	1,440	1,752
敷金	2,429	2,342
その他	399	547
貸倒引当金	△175	△171
投資その他の資産合計	6,992	6,297
固定資産合計	21,063	20,395
資産合計	44,228	42,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651	2,273
短期借入金	10,890	3,685
1年内返済予定の長期借入金	120	417
未払金	274	81
未払費用	2,339	1,871
未払法人税等	327	347
未払消費税等	257	172
返品調整引当金	16	10
賞与引当金	134	266
ポイント引当金	45	46
資産除去債務	80	77
その他	559	213
流動負債合計	17,699	9,464
固定負債		
長期借入金	1,239	9,373
繰延税金負債	243	196
退職給付に係る負債	310	310
資産除去債務	220	202
その他	315	296
固定負債合計	2,329	10,380
負債合計	20,029	19,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,374	6,374
資本剰余金	1,655	1,655
利益剰余金	15,421	14,725
自己株式	△12	△12
株主資本合計	23,438	22,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,023	490
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△358	△827
その他の包括利益累計額合計	666	△337
非支配株主持分	93	87
純資産合計	24,199	22,493
負債純資産合計	44,228	42,338

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	11,415	9,411
売上原価	5,905	4,773
売上総利益	5,509	4,637
販売費及び一般管理費	4,892	5,142
営業利益又は営業損失(△)	616	△504
営業外収益		
受取利息	7	6
為替差益	3	—
貸倒引当金戻入額	2	13
受取返戻金	—	43
その他	21	69
営業外収益合計	36	134
営業外費用		
支払利息	5	37
為替差損	—	17
固定資産除却損	3	2
その他	4	16
営業外費用合計	13	73
経常利益又は経常損失(△)	639	△444
特別利益		
関係会社貸倒引当金戻入額	2	1
資産除去債務戻入益	1	11
その他	0	—
特別利益合計	3	13
特別損失		
減損損失	3	71
投資有価証券評価損	—	21
ブランド撤退損失	25	—
倉庫移転費用	—	15
その他	—	0
特別損失合計	28	108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	615	△539
法人税等	175	△74
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440	△465
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	439	△465



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	440	△465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△534
繰延ヘッジ損益	5	△2
為替換算調整勘定	△117	△473
その他の包括利益合計	△92	△1,009
四半期包括利益	347	△1,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	331	△1,469
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	7,126	4,091	—	60	11,278	122	3	10	11,415	—	11,415
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9	9	—	—	19	530	256	—	806	△806	—
計	7,136	4,101	—	60	11,297	653	259	10	12,221	△806	11,415
セグメント利益 又は損失(△)	420	82	—	1	504	△6	2	△8	492	124	616

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額はセグメント間の取引に関わる調整額512百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△388百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## [関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
7,262	4,091	—	39	21	—	11,415

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	5,654	3,236	247	95	9,233	144	23	9	9,411	—	9,411
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	13	649	—	670	447	257	—	1,375	△1,375	—
計	5,662	3,250	896	95	9,904	592	280	9	10,787	△1,375	9,411
セグメント利益 又は損失(△)	93	△48	104	△38	110	△41	13	△8	74	△578	△504

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、のれんの償却額△140百万円、セグメント間の取引に関わる調整額373百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△812百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。なお、上記のれんの償却額は、2019年7月のBisonte Italia Holding S.r.l.の持分取得により発生したのれんに係るものであり、当該のれんの金額は企業結合日時点の識別可能資産及び負債の特定及び時価の見積りが未了であるため、取得原価の配分が完了しておらず、暫定的に算定された金額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## [関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
5,831	3,236	247	41	31	23	9,411

(注) 欧州に属する主な国または地域: イタリア、フランス